

法律経済学科

柔軟な発想と行動力を養い、現代の課題を解決に導く
社会のリーダーを目指して

法律経済学科では、各領域の体系的学習と領域間の横断的学習の実現を目標とします。法律、政治、経済、経営の各領域は、社会において密接な関係にありながらも、学問としては、それぞれ独自の体系を持っています。各領域内における根本原理を踏まえ、発展的な問題を探求していく、いわばタテの方向と、各領域間の相互関連性を理解する、いわばヨコの方向との融合があって、初めて社会問題の真相に迫ることができるのです。本学科では、大きく法政コースと現代経済コースに分けて、さらにそれぞれのコースで、統治プログラムと生活法プログラム、地域経済プログラムと企業経営プログラムに細分化し、体系的学習を可能としています。それぞれのプログラム、コースの履修モデルにしたがって授業選択をすることで、体系的学習が可能になります。

●法政コース
統治システム履修プログラム
生活法システム履修プログラム

●現代経済コース
地域経済履修プログラム
企業経営履修プログラム



法律経済学科で学べる専門分野

■法政コース

法学や政治学といった学問分野を中心に学び、法律や行政・政治に関する知識、リーガルマインド(法的思考力)、政策立案能力を身につけます。そして、複雑化する現代社会において生じる様々な問題に対し、的確な判断を下し、解決策を提案できる力を養います。

目標

リーガルマインドを兼ね備えた企業人としてビジネスの世界に適応する力を養うことはもちろんのこと、国内外の統治システムを学ぶことにより、国家・地方公務員やその他の行政スタッフとして活躍する道が開かれます。統治システムや日常生活に関わる法分野を体系的に学び、法曹(裁判官、弁護士、検察官)への道に進むための基礎的な知識、思考能力を養います。毎年、法科大学院を含む大学院進学者や公務員を出しています。

■現代経済コース

経済学や経営学といった学問分野を中心に学び、経済や経営の基本的な仕組みを理解することで、未来を切り拓き、現代社会で通用する専門性を身につけます。日本経済の歴史やグローバル化する経済の現状に関する幅広い知識、企業経営の原理、組織運営のノウハウ、マーケティングの手法など、企業人として活躍するために必要な知識と能力を養います。

目標

経済のしくみを理解し、現実の経済現象を分析する力、および、地域の経済問題に対する解決策提言能力を身につけることで、的確な公共政策を実行できる国家・地方公務員として活躍する道が開かれます。これらの能力を養うことに加えて企業経営に必要な基礎理論を習得することで、変化の激しいビジネス界において、企業人としてそれに対応できる応用能力を発揮することを可能にします。

カリキュラムの流れ

専門PBLセミナー (1年生後期・2年生前期)

各教員の提示する課題について、少人数のグループで学習と発表を行う授業です。参加学生は、法律・政治・経済・経営の諸分野におけるアプローチなどを理解します。専門としたい分野を絞り込むとともに、討論の仕方や意見集約の方法を身につけます。

専門演習/ゼミ (3年生)

3年次に行われる少人数の授業です。これまで学習してきたなかで最も関心のあるテーマについて、深く掘り下げて勉強します。また、共同で論文を執筆し、『学生論集』に掲載します。4年次の卒業論文執筆にあたっては、ゼミの担当教員による指導を受けなければなりません。ゼミは、他の授業とは別格のものです。



柔軟な発想と行動力を養い 現代の課題を解決に導く 社会のリーダーを目指す

自ら学んだ知を
的確に発信し、
国際社会と地域社会の
発展に貢献できる人材へ

ゼミの活動などを通して
現代社会の
課題に挑戦する
積極性を養う

ゼミでの徹底討論
論理的に考え、
総合的に判断できる
力を身につける

少人数教育で
大学での勉強法を
身につけ
多くの科目を履修

法学・政治学・
経済学・経営学を
幅広く学ぶ
学際的視野で
問題を探求できる力を
身につける



法律経済学科教育カリキュラム

1 年生		2 年生		3 年生		4 年生	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門教育							
地域から考える文化と社会	専門PBLセミナー	コースの決定		専門演習(ゼミ)		卒業論文執筆	
専門基礎 憲法、民法総則、政治学原論、 経済学原論、経営学総論、近代経済学		法政コース 現代経済コース					
専門科目群 法、政治、経済、経営に関する講義から、自分の選んだコースのものを中心に受講します。							
共通教育							
スタートアップセミナー、データサイエンス、キャリア教育、英語などを必修科目としているほか、「歴史・文化」、「環境・科学」、「健康・医療・福祉」、「教育・公共」、「社会・経済」、「国際・外国語」の6分野などから選択して受講します。							

法律経済学科1年生A.M.さんの1週間スケジュール 前期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目 8:50~10:20		法学G 日常生活の中の法		日本文学B 忍者像の形成と変遷	心理学F 心のガセを見つめ直す
2限目 10:30~12:00	生物学 多様性の生物学	異文化理解I 基礎(中国語)	英語I コミュニケーション	日本史B 忍者の歴史	データサイエンスI
昼休み					
3限目 13:00~14:30	英語I 大学基礎			異文化理解I 演習(中国語)	哲学G 哲学的思考の実践
4限目 14:40~16:10	スタートアップ PBLセミナー	スポーツ健康科学a	インターンシップ 入門	英語I TOEIC	
5限目 16:20~17:50	地域から考える文化と社会	英語I TOEIC			

法律経済学科3年生K.Y.さんの1週間スケジュール 前期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目 8:50~10:20		政治学原論			
2限目 10:30~12:00		行政法各論	特殊講義 子どもと法	アメリカの 社会A	
昼休み					
3限目 13:00~14:30		アジア・オセアニアの 歴史E			
4限目 14:40~16:10		商取引法		政治学原論	
5限目 16:20~17:50				民法(家族法) 演習	

法学部 法政コース

統治システム履修プログラム

国内外の統治システムに関わる専門科目を学ぶことにより、国家・地方公務員やその他の行政スタッフとして活躍したり、NPOやNGOといった非営利団体で創造的な活動を行ったりする道が開かれます。また、公共政策大学院への進学など、より高度な専門的知識を修得するための道も開かれています。



主要科目紹介

- 憲法(内野広大)
憲法学の基本と人権論を学ぶ
- 憲法制度論(内野広大)
国家の統治機構について学ぶ
- 政治学原論(須川忠輝)
現代の政治の基本を学ぶ
- 国際法
国際社会における国際法の役割を考える

- 行政学(須川忠輝)
現代社会における行政の意義と役割を考える
- 政策過程論(樹神 成)
政策立案の過程を学び、政権交代について考える
- 政治思想史(麻野雅子)
西洋政治思想史を学ぶ
- 現代政治理論(麻野雅子)
現代社会を読み解く政治理論を学ぶ
- 行政法総論(前田定孝)
国家や行政と国民・住民の生活との関係を学ぶ

- 行政法各論(前田定孝)
行政に対する国民的法的統制の展開過程を学ぶ
- 地方自治論(岩崎恭彦)
地方自治の法としくみを学ぶ
- 環境法(岩崎恭彦)
環境問題をめぐる政策と法について学ぶ
- 国際関係論(古瀬啓之)
戦争と平和をめぐる国家間関係について学ぶ

卒業生インタビュー OG Voices

学んだことが仕事に直結

三重県庁
2017年卒業 Y.T.さん



現在の職場では、県庁内の各職場から寄せられる法律的な相談への対応を行っています。あらかじめ事案を整理し、弁護士資格を持つ職員の方に伝えるのが私の仕事です。行政が直面する複雑な法的課題について、法律や文献、裁判例を検索しながら検討するのは容易なことではなく、毎日が勉強の連続です。しかし、学部で法律や政治を学び、とりわけゼミ演習を通じて論理的思考力を鍛えてきた経験が非常に役立っていると感じています。

統治システム:授業の紹介

CLASS INTRODUCTION

【行政救済法】

行政救済法とは、要するに国民の権利義務等が行政裁判等で争われる過程において、どのように「行政法理」が生成し、そして実体化するのかをたどるものです。日常的なトラブルがどのように裁判で取り扱われ、そこにどういう法治主義、さらには立憲主義上の課題があるのかを検討します。



法政コース

生活法システム履修プログラム

日常生活と深く関わる法分野と、基礎法学を学ぶことにより、法に関する基本的な知識と実践的な思考力を身につけることができます。実務家(弁護士)による講義も開講しています。将来の進路としては、法科大学院(ロースクール)への進学、各種資格試験(司法書士・宅地建物取引士など)の受験が考えられますが、国家・地方公務員、そしてリーガルマインドを兼ね備えた企業人として、ビジネスの世界で活躍することもできます。



主要科目紹介

■民法総則(上井長十)

民法の基本的諸制度および諸原理を学ぶ

■債権総論

契約等から生じる特定の請求権に関する法を学ぶ

■物権法(上井長十)

所有権、抵当権等の物権をめぐる法を学ぶ

■債権各論

契約と不法行為に関する法について学ぶ

■家族法(稲垣朋子)

家族にまつわる法的規律について学ぶ

■刑法総論(田中亜紀子)

犯罪と刑罰に関する法を学ぶ

■刑法各論(田中亜紀子)

様々な犯罪をめぐる問題を個別に検討する

■会社法(名島利喜)

会社制度の存在と活動に関する法を学ぶ

■商取引法(名島利喜)

代表的な商取引と、それをめぐる法を学ぶ

■法哲学(高橋秀治)

法の存在根拠と拘束力について考える

■民事訴訟法

私人間の紛争解決のための手続法を学ぶ

■現代裁判論(三重弁護士会)

弁護士から見た裁判の現状と課題を検討する

■労働基準法(藤本真理)

労働契約をめぐる諸問題を法的観点から検討する

■労働組合法(藤本真理)

労働組合、労働協約の役割について学ぶ

生活法システム:授業の紹介

CLASS INTRODUCTION

【刑法演習】

刑事司法に関わる仕事を志す人や社会問題としての犯罪に関心を持つ人が集まる刑法ゼミでは、冤罪や児童虐待などを取り上げるグループ報告や、学内外の論文企画への参加、そして、卒業論文として取り組むテーマに関する個人報告が何度か行われます。犯罪という切り口から現代社会を考え、また、自分たちが調査したり考えたことに関する議論を通じてさらに問題について考える、そのようなゼミを行っています。



卒業生インタビュー OG Voices

幅広い学びで現代社会を 生き抜く力を身に付ける

東京弁護士会所属 弁護士

2015年卒業 M.I.さん



本学科では法律分野と経済分野の両分野を学べます。

弁護士として働く中で、法的な問題を

を解決するためには、法的知識だけではなく多角的に物事を分析する力が必要と感じます。

そのためには、まずは幅広く学ぶことで自身の意識を変革することが重要です。

是非とも本学科で学び、社会を見つめる幅広い視点を身に付けてください。

現代経済コース

地域経済履修プログラム

経済の基本的な仕組みに関する専門科目と、具体的な経済問題と深く関わる専門科目を選ぶことにより、現実の経済現象を的確に分析する能力や、地域が抱える経済問題に対して解決策を提言できる能力を、身につけることができます。

将来の進路としては、民間部門で活躍する企業人はもちろん、地域経済を公共的視点から支える行政スタッフとなる道も開かれています。



主要科目紹介

- 近代経済学(落合 隆・嶋 恵一)
経済理論(マクロ・ミクロ経済学)の基礎を学ぶ
- マクロ経済学
経済活動の規模や雇用の決定の仕組みについて学ぶ
- ミクロ経済学
消費者や企業が活動する市場の仕組みについて学ぶ
- 経済政策
公共部門の役割と経済政策の機能について学ぶ

- 地域経済論(朝日幸代)
地域経済現象とその主要経済理論や問題点について学ぶ
- 産業経済論総論(豊福裕二)
現代の諸産業や産業構造の特性について学ぶ
- 福祉経済論(岩崎克則)
我が国の社会保障制度の背景,あり方について学ぶ
- 社会保障論(岩崎克則)
社会保障に関連する個別課題について、掘り下げて学ぶ
- 財政学(川地啓介)
現代財政について学び、税のあり方について学ぶ

- 地方財政論(川地啓介)
中央及び地方政府の役割や財政構造について学ぶ
- 地域経済政策
地域における経済問題の構造と経済政策について学ぶ
- 国際経済論(落合 隆)
国際貿易の理論を学び、それをもとに現状について考える
- 計量経済学(嶋 恵一)
データの分析方法について学ぶ
- 統計学
統計的なものの見方や手法を学ぶ

卒業生インタビュー OG Voices

安全安心な社会の実現を目指します

名古屋税関

2018年卒業 K.A.さん



私の現在の仕事は、空港で海外から入国する旅客の手荷物検査を行うことです。日本の安全安心な社会を実現するため、日本

に持ち込むことが禁止されている不正薬物等の密輸を水際で阻止するための取り締まりを行なっています。また、海外から持ち込まれる物品に対して関税等の税金を徴収するという業務があり、法律や経済など人文学部で学んだ幅広い知識が役立っています。

地域経済:授業の紹介

CLASS INTRODUCTION

【産業経済論総論】

産業経済論総論では、日本の代表的な産業について、それが生み出す商品の特性や市場特性、他産業との連関や産業構造上の位置について学ぶとともに、各産業がたどってきた歴史的な発展過程について学びます。グローバル化の進展によって各産業や日本経済を取り巻く環境も変化し、また技術革新は産業のあり方にさまざまな影響を及ぼします。本講義では、歴史的な視点と産業特性の理解にもとづき、今日の日本の産業構造や各産業の課題を見通す力を身につけることを目指します。



現代経済コース

企業経営履修プログラム

企業経営を深く理解するための科目と、変化する企業環境を正しく読み解くための専門科目を学ぶことにより、変化の激しいビジネス界において自らの能力を存分に発揮できるような企業人となるための、基本的な能力を身につけることができます。将来の進路としては、一般の民間企業に就職し、企業人として活躍することはもちろん、各種資格試験（公認会計士、税理士など）に挑戦し、高度専門職業人としてビジネス界をリードする人材になる道も開かれています。



主要科目紹介

■経営学総論(青木雅生)

企業・管理・戦略に関する基礎的知識を学ぶ

■人的資源管理論(岩田一哲)

人的資源の管理について歴史・理論・現実を学ぶ

■経済原論(深井英喜)

経済学の基礎理論と資本主義社会の基本構造を学ぶ

■日本経済論(森 久綱)

現代の日本経済を取り巻く諸問題について学ぶ

■金融論(野崎哲哉)

現代経済社会における金融の役割について学ぶ

■証券経済論(野崎哲哉)

現代経済社会における証券の役割について学ぶ

■経営管理論(岩田一哲)

マネジメントの基本を代表的学説をふまえて学ぶ

■経営史(青木雅生)

日本の企業経営の歴史的過程・特徴を学ぶ

■日本経済史(堀内義隆)

日本経済の発展過程について学ぶ

■経営戦略論(熊谷 健)

企業が競争優位を獲得するための経営理論を学ぶ

■経済思想史(深井英喜)

経済学の考え方の変遷を学ぶ

■マーケティング論(熊谷 健)

基礎的なマーケティング理論・手法を学ぶ

■ソーシャルビジネス論(洪 性旭)

社会課題の解決にビジネスで取り組む手法について学ぶ

■近現代アジア経済史(堀内義隆)

アジア経済の資本主義化の過程について学ぶ

企業経営:授業の紹介

CLASS INTRODUCTION

【日本経済史】

最短距離をまっすぐ歩くのが好きな私ですが、なぜか人生は回り道ばかり。そんな私が教える日本経済史では、日本が農業社会から工業化社会に至るまでの数百年間の歩みを解説します。その道は曲がりくねってはいますが、決してデタラメな道ではなく、科学的認識によって理解可能なものです。歴史は暗記科目だとか、雑学の寄せ集めだとか思っている人には、「なぜ?」「どのようにして?」と考える歴史への認識の転換を味わってほしいです。



卒業生インタビュー OG Voices

シティプロモーションに活かされる学び

津市役所

2016年卒業 I.M.さん

私は広報課で広報誌やホームページ、行政情報番組の作成を担当しています。市の複雑な制度を分かりやすく伝えるには、まず自分自身が全てを理解していなければなりません。



人文学部では、経済学を通して物事を論理的に考える力が養われた他、ゼミ演習では社会人として必要なコミュニケーション能力が鍛えられました。より良い広報活動のため、問題を深く掘り下げて考えたり、同僚と議論したりするなどして、学びを活かしています。